

**CDP^{※1}が実施した“気候変動への対応に関する調査”で、
キリンググループが3年連続で最高評価の「Aリスト」に認定**

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、持続可能な経済を実現させる活動を行う国際 NGO の CDP により「気候変動 A リスト」企業と認定され、2016年10月25日（火）に株式会社東京証券取引所東証ホール（東京都中央区）にて開催された「CDP2016 日本報告会」で発表されました。

「気候変動 A リスト」とは、その企業活動が気候変動対応と戦略において世界のリーダーであると評価された企業に与えられるものです。今回は、2014年、2015年に続いて3年連続の認定となります。

※1 CDP は運用資産総額 100 兆米ドルに達する世界の 827 の機関投資家を代表し、企業の温室効果ガス排出量や気候変動等に関する取り組みの情報を収集、評価している国際非営利団体（NGO）です。



本年、CDP から送付された質問書に対して、自社の気候変動への取り組み情報を開示した企業のうち 193 社が「A リスト」に認定されました。企業の開示情報は CDP が確立した独自のメソドロジーにより評価^{※2}され、報告年における排出削減活動や気候変動緩和対策が特に優秀であるとされた 9%の企業が「A リスト」に認定されています。

※2 日本では FTSE ジャパンインデックスを基本とする大手企業 500 社に対して①気候変動管理②気候変動によってもたらされる事業的なリスクと機会③温室効果ガス排出量の 3 部門に関する質問書を送付し、その回答結果を分析・評価されています。

キリンググループでは、「食と健康」の領域で事業を営む企業グループとして、「キリンググループ長期環境ビジョン」を定め、4つのテーマ^{※3}の一つである“地球温暖化”の防止においては、「バリューチェーンでの CO2 排出量を 2050 年までに 1990 年比で半減する」という高い目標を掲げています。徹底した省エネ活動に加えて、太陽光発電や風力発電および排水処理設備から得られるバイオガスを利用した発電などの再生可能エネルギーの活用、容器軽量化や共同配送を含むバリューチェーンでの CO2 削減の取り組みなどを進めています。

今後もキリンググループは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンにかかわるすべての人々と共につないでいくためにさまざまな活動に取り組んでいきます。

※3 2050 年にバリューチェーンから生じる環境負荷を地球が賄うことのできる能力とバランスさせる「資源循環 100%社会の実現」を目指して①生物資源、②水資源、③容器包装、④地球温暖化をテーマに取り組んでいます。

キリンググループの環境活動

<http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/>

キリンの環境への取り組み

<http://www.kirin.co.jp/csv/eco/>

（本件お問い合わせ先）

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部
東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028

（お客様お問い合わせ先）

キリン株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502
キリンホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp>